

2024 年度第 2 回 SPring-8 ユーザー協同体評議員会 議事録

日時：2024 年 9 月 5 日(木) 11 時 45 分～12 時 45 分

場所：九州大学医学部百年講堂 会議室 1、オンライン、ハイブリッド開催

現地参加：

(評議員) 尾原幸治、田中義人、水木純一郎、綿貫徹、朝倉清高、有馬孝尚、北川宏、
坂田修身、中川敦史、西原克浩、藤原明比古、水牧仁一郎

(執行部) 藤原明比古*、田中義人、宮永美紀、久保田佳基、田中真奈子、水牧仁一郎*、
杉本邦久、永村直佳、松村大樹、朝倉博行、大和田謙二

(オブザーバー) 雨宮慶幸、山口章、大端通、木村滋、熊坂崇

(事務局) 岡田行彦、古川美奈

オンライン参加：

(評議員) 雨宮健太、石井賢司、磯村典武、大川侑久、沖充浩、北川進、木村英彦、西
堀英治、矢代航、網野直也、久米卓志、小林貴幸、西堀麻衣子

(執行部) 米田仁紀、城鮎美、南後恵理子

(オブザーバー) 生越満、西村勇人

欠席：

(評議員) 和泉篤士、松田巖*、佐々木宏和

但し、*は評議員でもある執行部

議題

会長挨拶

前回議事録案の確認 (資料 1)

【審議事項】

1. NanoTerasu ユーザー共同体との連携 (資料 2)

【報告事項】

1. 行事幹事報告

1.1. SPring-8 シンポジウム 2024 (資料 3)

1.2. Young Scientist Award (資料 4)

1.3. 第 8 回 SPring-8 秋の学校 (資料 5)

2. 会計幹事報告

2.1. 2024 年度 SPRUC 全体会計 (資料 6)

3. 利用幹事報告

3.1. 第 7 期研究会開催状況等 (資料 7)

4. 庶務幹事報告
- 4.1. 第 13 回代表機関会議（資料 8）
- 4.2. 次期評議員選挙について（資料 9）
5. SPring-8-II の利用提案について（資料 10）

【その他 連絡事項】

1. 前回以降の行事と今後の予定（資料 11）

【参考資料】

1. 評議員会名簿、執行部名簿（資料 12）

議事録

- (1) 議事に先立って藤原会長より挨拶があった。
- (2) 久保田庶務幹事より資料 1 に基づき、前回議事録案の確認依頼があった。

【審議事項】

- (1) NanoTerasu ユーザー共同体との連携：藤原会長より資料 2 に基づいて、NanoTerasu ユーザー共同体との連携の検討状況について説明が行われた。研究会の約 2/3 から賛同が得られている。評議員会として進めることとして承認が得られた。
(ア) 有馬 NanoTerasu ユーザー共同体会長よりコアリションメンバーは別枠にする方針が説明された。

【報告事項】

- (1) SPring-8 シンポジウム 2024：永村行事幹事より、資料 3 に基づき、SPring-8 シンポジウム 2024 の実施概要について報告が行われた。
- (2) Young Scientist Award：永村行事幹事より、資料 4 に基づき、13th SPRUC Young Scientist Award 受賞者の報告が行われた。中川選考委員長より審査の結果 3 名を選出したとのコメントがあった。
- (3) 第 8 回 SPring-8 秋の学校：松村行事幹事より、資料 5 に基づき、第 8 回 SPring-8 秋の学校の実施内容について説明が行われた。
- (4) 2024 年度 SPRUC 全体会計：南後会計幹事より、資料 6 に基づいて、2024 年度 SPRUC 会計の予算執行状況について報告があった。
- (5) 第 7 回研究会活動状況：水牧利用幹事より、資料 7 に基づいて、第 7 期研究会活動状況について報告があった。
- (6) 第 13 回代表機関会議：久保田庶務幹事より、資料 8 に基づいて、第 13 回代表機関会議開催予定について報告があった。

- (7) 次期評議員選挙について：久保田庶務幹事より、資料 9 に基づいて、次期評議員選挙について報告があった。改組がある場合、改組に合わせた変更がある可能性が補足説明された。
- (8) SPring-8-II の利用提案について：藤原会長より、資料 10 に基づいて、SPring-8-II の利用提案について報告があった。SPRUC として文科省他に対して要望を提出するとともに SPRUC ホームページに公開する旨説明があった。

【その他 連絡事項】

- (1) 前回以降の行事と今後の予定：久保田庶務幹事より、資料 11 に基づき、前回以降の行事と今後の予定について説明が行われた。

【質疑】

- (1) 田中副会長から NanoTerasu ユーザー共同体との連携スケジュールの質問があった。
 - (ア) 藤原会長から来年 3 月に新組織として始めたいとの回答があった。藤原会長の私案として現状の SPRUC の仕組みを基に NanoTerasu 担当の方を追加するとして、承認を得るという方向を考えている。名称としては「特定放射光施設ユーザー共同体」を想定している。
 - (イ) 有馬評議員より SPecific Radiation Facility User Community (SPRUC) との名称の提案があった。
- (2) 中川評議員より代表機関会議において評議員選挙についてどのように紹介すべきかとの質問があった。
 - (ア) 藤原会長より従前と同様の依頼をするが、改組時には変更がある旨を補足する予定であると回答があった。
- (3) 藤原会長より QST は施設者となるので、代表機関ではなく施設側の立場になる旨依頼する予定との説明があった。
- (4) 杉本行事幹事から、現状行事として SPring-8 シンポジウム、秋の学校、BLs アップグレード検討ワークショップがあるが、ビームラインアップグレードではなくて、SPring-8-II へのアップグレードワークショップとしていきたいとの提案があった。
 - (ア) 藤原会長より NanoTerasu との連携を考えるのであれば、ワークショップも連携してほしいとの提案があった。

以上